

# パラリンピック閉幕

【アテネ共同】障害者スポーツの祭典、第二次パラリンピック・アテネ大会は二十八日、五輪スタジアムで閉会式を行い、閉幕した。史上最多の百三十六カ国・地域から三千九百六十九選手が参加。日本は金メダル十二個、総メダル数五十二個と、過去最高の成績を挙げた。次回は二〇〇八年に北京で実施される。

## 夢・感動を北京へ

事前のアトラクションを取りやめるなど閉会式は簡素化。関係者、観客らが黙とうをささげた。

選手は思い思いに入場。参加選手の中で最多の今大会八個のメダルを獲得した競泳女子の成田真由美選手（神奈川県）ら日本勢も、元気に行進した。大会は競技性をより高め、世界新記録が続出。国際パラリンピック委員会（IPC）のクレブソン会長は「選手が競技レベルを上げた」などとあいさつした。

### IPC会長「競技レベル向上」



閉会式後笑顔でポーズをとる岡紀彦選手ら  
(28日夜、五輪スタジアム) 共同

ドーピング(薬物使用)違反により四件でメダルがはく奪されたが、これは過去最多。障害者と健全者の共生を具現化する祭典は発展を続けるが、多くの問題点をはらんで

いることも浮き彫りとなった。パラリンピック旗はバコヤンニ・アテネ市長から劉敬民・北京副市長に渡った。聖火が消え、十二日間の大会が終わり

を告げた。